

日本スポーツマスターズ2009富士山静岡大会自転車競技  
参加上の注意事項および連絡事項

<ロード、トラック・レース共通事項 >

ユニフォーム

- ユニフォームは、各競技者の所属のものを着用する。
- 所属のない選手は都道府県または無地のユニフォームを着用する。

ヘルメット

- 公認シールが貼られた公認ヘルメット。
- 公認エアロヘルメットは男女タイム・トライアルと個人追抜競走のみ許可する。  
なお、練習中の使用は不可とする。

自 転 車

- 競技規則集第16条に適合する自転車を使用すること。なお、当日の検査で不適合となった場合、出走を拒否します。
- 特に確認しておく箇所
  - ・ サドル先端部が ボトムブラケットの中心より5cm 以上後方にあること。TT、SP、KE はボトムブラケットの中心より前に出ないこと。
  - ・ ハンドル先端部が前輪中心より5cm以内にあり伝統的なハンドルバーであること。SP、KE、TS の種目では10cm以内のこと。
  - ・ TT、IP で使用可能なステアリング・システムの延長部の先端がボトムブラケットより75cm以内であること。
  - ・ ハンドル上端部の位置は、サドル上端部より下にあること。ハンドル下端部が前輪上端部より上にあること

\* 以上の点が適合していない場合は必ず部品等の交換をしておくこと。

ペナルティ

- 正当な理由のない欠場・欠席(レース・表彰式)および登録証不携帯はペナルティを科す。

異議申し立て

- 供託金:12,000円とする。
- 申立て:監督が書面にておこなうこと。

表 彰

- 1位から3位まで表彰する。
- 表彰式の受賞対象者はジャージで出席のこと。(帽子、サングラス、サンダルは非礼となるので禁止する。)
- 4位から8位までの入賞者は表彰式終了後、競技本部で賞状を授与する。

そ の 他

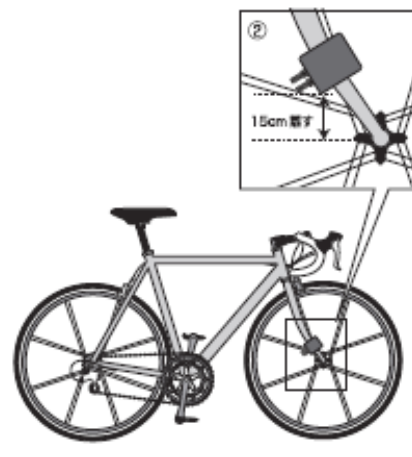
- 本大会ではメカニックサービスは行ないません。整備された自転車で参加下さい。
- 本大会では自転車保管所は設けません。
- 事前に申込まれた弁当は、弁当引換所で受取、空き容器も同じ場所で回収します。

- 大会中の負傷疾病については、主催者で応急措置は行ないますが以降の措置については参加者自身の責任において行なってください。(健康保険証は持参のこと)
- 控え所や駐車場等での手荷物・貴重品の管理は各自の責任で行なって下さい。
- ゴミは必ず各自でお持ち帰りください。
- 「ゆ～サロン」はIDカードの提示で割引となります。
- 健康管理に充分注意したうえで参加し熱中症にも注意しその対策も行なって下さい。
- 新型インフルエンザ対策の基本は手洗い、うがいです。また、咳、くしゃみ等の症状がある方は必ずマスクの着用をお願いします。咳、くしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻を抑え、周囲の人から1～2m離れてください。
- 場内で体調に異常を感じた場合は、救護所に相談してください。

### <ロード・レース>

#### 受付

- 9月20日(日) 8:30～10:00 入場ゲート前
- 受付時にゼッケン、ヘルメットカバー、計測チップ等をお渡します。
- ヘルメットカバー、計測チップはレース終了後速やかにチップ回収所に返却下さい。



- 左の図のとおり、右側のフロントホークにタイラップで固定してください。
- 正しく装着されていないと計測ができないので確実に装着して下さい。
- レース終了後、チップ回収所にて取り外し回収します。

#### 入場

- 選手：正面ゲート横入口の係員にIDカードを提示して下さい。
- 応援者：有料(選手受付時に割引券を発行します。)

#### 試走

- ロード・レース 9月20日(日) 9:00～11:30  
\*事故防止のため必ず試走してください。\*

#### その他

- 日本サイクルスポーツセンターの大会当日の開門時間は9月20日(日)8:30です。
- 選手関係車輛は通用門より進入できません。大駐車場に駐車のうち、正面入場ゲート横入口より入場してください。
- 大駐車場内での自転車走行は、他のお客様に迷惑となり大変危険ですので絶対に

止めてください。

- 招集場所への集合・レース終了後の退場は地下道をご利用ください。
- 主催者はスペアホイールの準備はしません。各自用意してください。

<トラック・レース>

受付

- 9月20日(日) 8:30～10:00、12:30～14:30 入場ゲート前
- 9月21日(月・祝) 6:30～7:00 入場ゲート前

入場

- 選手：正面ゲート横入口の係員にIDカードを提示してください。
- 応援者：有料(選手受付時に割引券を発行します。)

指定練習

<練習時間配分表>

日時	A班(赤シール)	B班(青シール)	C班(黄シール)
9月20日(日)	13:00～16:00(班分けなし)		
9月21日(月・祝)	6:45～7:10	7:15～7:40	7:45～8:15
9月22日(火・祝)	7:00～7:45(班分けなし)		

<指定練習班分け表>

班	シールの色	都道府県名
A	赤	北海道、岩手、福島、茨城、栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、長野
B	青	富山、石川、静岡、愛知、三重、滋賀
C	黄	岐阜、京都、大阪、兵庫、岡山、広島、山口、香川、徳島、愛媛、福岡、熊本、大分

- ・各都道府県は受付を済ませ、班分けに従い相互に時間を守り練習を行なうこと。
- ・走路の入場はバック側より、退場はホーム側よりとする。
- ・班別練習時の走路の出入りは練習時間の5分間のインターバルのみ行なう。
- ・9月20日(日)は各自の責任のもとに行うこと。
- ・9月21日(月・祝)はヘルメット右側に班別シールを貼ること。

駐車場

- 自転車等機材の積み下ろし、積み込みのための車輛は通用門より進入して下さい。(通行許可証はフロントガラスの見える位置に掲示)積み下ろし、積み込み終了後は速やかに大駐車場に移動してください。

その他

- 日本サイクルスポーツセンターの大会当日の開門時間は9月20日(日)8:30  
9月21日(月・祝)、22日(火・祝)6:30です。
- 走路内にはIDカード着用者のみ入ることができます。
- 走路への入場はバック側より、退場はホーム側よりとなります。
- 走路保護のため、走路内の出入りはアップシューズとし、レーサーシューズでの出入りは禁止です。
- 招集所で受取ったヘルメットカバーは、競技終了後、競技役員に返却してください。

## 日本スポーツマスターズ 2009 富士山静岡大会 自転車競技会特別規則

本競技会は、(財)日本自転車競技連盟競技規則2009年版及び本競技会特別規則によって実施する。

### ロード・レース

- ボディーナンバー(ゼッケン)は、左肩と腰(中央)に各1枚ずつ装着し、ヘルメットカバーは下記のとおり着用すること。

男子1部	白色	男子5部	黄色
男子2部	桃色	男子6部	黒色
男子3部	青色	女子の部	赤色
男子4部	緑色		

- 各種別とも、1周5kmの周回コースを左回りで周回する。
- 出走確認は、服装・自転車・ヘルメットの検査及びチップの動作確認を受けた後、下記の時間内に終了すること。

#### 出走確認の指定時間

男子1部・2部・6部 女子の部	11:15 ~ 12:15
男子3部・4部・5部	13:45 ~ 14:45

- スタートはパレードスタート方式でおこなう。競技役員より正式スタートの合図がされるまでスタート時の隊列を守って進むこと。
- 同一時刻でスタートする種別はレースとしては同一レースとするが、表彰は種別毎で行なう。
- 周回遅れ選手は原則としてレースから除外せず、先頭選手がフィニッシュラインを通過した時点でレースを終了し、走った周回と時間で順位を与える。
- レースを中止した選手は、ヘルメットカバーを最寄の競技役員に渡すこと。
- タイム計測は自動計測装置を使用する。選手は、前フォークに計測用チップを確実に装着すること。装着の不備により計測が行なえなかった場合は、順位が与えられないことがある。
- 本競技会では、共通機材車は用意しないので、スペアホイール等は選手自ら用意し、配置すること。交換するときは選手自らの手で行なう事。

### トラック・レース

#### ボディーナンバー(ゼッケン)

- 1枚の場合:腰の中央部に縦向けに装着(タイム・トライアル、個人追抜競走)
- 2枚の場合:右肩と腰(中央)に装着(スプリント、ケイリン、ポイントレース)

#### 招集

- 招集場所:競技場入口テント
- 選手各自のスタート時間10分前までに、選手本人が装備(自転車・ユニフォーム・ボディーナンバー・ヘルメット)の検査を受けること。

#### 【タイム・トライアル】

- スタートはスターティング・マシーンを使用する。
- 男子は原則としてホームとバックからの同時スタートとする。
- 女子はホームよりの単独スタートとする。
- スタート方法は、ホームとバック双方の選手のスタート準備が出来てから、10秒のカウントダウンとする。

#### 【スプリント】

- 予選は2周のうち最終200mを計時する。スタートは競技役員の指示に従う。
- 予選の結果により、タイム上位4位までが1 / 2決勝に進出し、5位から8位までが5 ~ 8位決定戦に進出する。
- 1 / 2決勝は1回戦で、決勝及び3・4位決定戦は3回戦で行う。

#### 【個人追抜競走】

- スタートはスターティング・マシーンを使用する。
- 原則としてホームとバックからの同時スタートとする。
- タイム・レースとし、タイムにより順位を決定する。追抜かれた選手も最後まで走らなければならない。
- スタート方法は、ホームとバック双方の選手のスタート準備が出来てから、10秒のカウントダウンとする。

#### 【ポイント・レース】

- ニュートラリゼーションは3周回とし、最後の5周回には与えない。
- ヘルメットカバーを使用する。
- 1部・2部は16km、3 ~ 6部は10kmとする。

#### 【ケイリン】

- 最大出走数は8名とする。
- ヘルメットカバーを使用する。

#### 【チーム・スプリント】

- スタートはスターティング・マシーンを使用する。
- 原則としてホームとバックからの同時スタートとする。
- タイム・レースとし、タイムにより順位を決定する。
- スタート方法は、ホームとバック双方のチームのスタート準備が出来てから、10秒のカウントダウンとする。
- 選手の変更はやむを得ない欠場、競技会中のケガ等により欠員が出た場合のみ構成している競技者の所属から選出し、9月22日10時30分までに総務委員長に申し出る。